



赤十字ありがとう通信 No.15

みなさまのおかげで、私たちの活動が成り立っています。
赤十字の様々な取組みを紹介します。

日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

発行日/令和4年5月1日 発行/日本赤十字社広島県支部 〒730-0052 広島県広島市中区千田町2丁目5-64



ウクライナにおける赤十字の人道支援活動

— 公平・中立の立場で、苦しむ人々を救いつづける —

ウクライナにおける紛争の激化により、多くの人々が水・電気・ガス等がない中で暮らしています。これまで1000万人以上の人が住むところを追われ、ウクライナ国内外への避難を余儀なくされています。(3月28日時点の情報)

これらの危機に対し、国際赤十字は一丸となり、人間のいのちと健康、尊厳を守るという赤十字の使命のもと、人道支援活動を展開しています。ウクライナ赤十字社および周辺国の赤十字社を中心に、食料や医薬品、衣類などの必要物資の支援、医療支援、応急手当の普及、こころのケア等を行っています。

日本赤十字社は、ウクライナ赤十字社および周辺国の赤十字社による救援活動を支援するため職員派遣や資金援助をしたほか、「ウクライナ人道危機救援金」の募集を行っています。この救援金は、国際赤十字を通じて、ウクライナ及び周辺国における人道支援にかかる赤十字事業の実施に活用されます。



救護用資機材の提供



ウクライナから逃れてきた人たちのためにテントを設置
【スロヴァキア赤十字社】

応急手当の普及



地下鉄や避難所等で応急手当のトレーニングを実施
【ウクライナ赤十字社】

必要物資の支援



避難してきた人々に国境沿いで食料や衛生物資等を配付する
赤十字ボランティア 【ルーマニア赤十字社】



救援物資を運ぶトラック
【トルコ赤新月社】



紛争でけがをした人に応急手当を施す赤十字ボランティア
【ウクライナ赤十字社】



食料、水、医療物資などの救援物資の運搬
【ロシア赤十字社】

〈赤十字の7原則〉人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない」という「人道」の精神をはじめとした、〈赤十字の7原則〉に基づき、世界192か国の赤十字・赤新月社は、人間のいのちと健康、尊厳を守るための活動を続けていきます。

ウクライナ人道危機への 赤十字の対応状況

詳しい活動状況については、日本赤十字社ホームページで随時発信しています。
▶ 右のQRコードからご覧ください。



広島県支部の活動

国内災害救護

中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練

令和3年11月、日本赤十字社中国・四国地方各県支部は、合同救護訓練を香川県において実施しました。当日は、当支部医師・看護師等7名を含めた約120名の日本赤十字社職員のほか、香川県、高松市、海上保安部などの防災関係機関、近隣住民や赤十字ボランティアが集結し、総勢約370名での訓練となりました。

この合同訓練は、中国・四国地方各県支部の相互支援体制の確立と防災関係機関との連携強化、災害対応能力の向上を目的に実施しています。参加者は、豪雨に大潮が重なったことに伴い、島しょ部でライフラインの中断・高潮被害・土砂災害が発生したという想定で、避難所アセスメント・巡回診療・救護所開設などの訓練を行いました。



海上保安部の船を使用した救護員の海上輸送訓練



避難所の巡回診療訓練



避難所情報の報告訓練

講習普及

赤十字救急法指導員養成講習

当支部は、赤十字救急法等指導員を養成するため、毎年指導員養成講習を開催しています。今年は令和3年9月～12月にかけて赤十字救急法指導員養成講習を開催し、新たに20名の救急法指導員が誕生しました。赤十字救急法講習は、約200名の指導員により毎年実施しており、年間約2万人が受講しています。



毛布を使った傷病者搬送の実技



包帯を使った応急手当の実技

青少年赤十字

令和3年度青少年赤十字広島県大会



令和3年11月、2年ぶりに青少年赤十字広島県大会をオンラインで開催し、青少年赤十字（以下、JRC）加盟校や赤十字奉仕団などから59名が参加しました。この大会は、JRC加盟校の相互交流とメンバーの親善を深めるとともに、JRC活動の充実発展を目的として開催されています。当日は、永年加盟表彰式から始まり、各学校でのJRC活動紹介や、中学・高校に分かれての赤十字に関するグループワーク、赤十字救急法学習会を行いました。

赤十字ボランティア

NHK海外たすけあい支援バザー

令和3年12月、広島県青年赤十字奉仕団主催によるNHK海外たすけあい支援バザーを開催しました。このバザーでは、協賛企業16社から提供いただいた食料品・日用雑貨、瀬戸田町さくら赤十字奉仕団員が摘み取ったみかん、お好み焼きの販売を行いました。バザーには約100名の方が来場し、売り上げの全額をNHK海外たすけあいに寄付しました。



バザー用に収穫したみかんを仕分ける
瀬戸田町さくら赤十字奉仕団員と支部職員



協賛商品の販売を行う広島県青年赤十字奉仕団の学生



これらの活動は、広島県にお住まいのみなさまからのご寄付で行っています。引き続き、赤十字へのご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。



お問い合わせ



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島県広島市中区千田町2丁目5-64

TEL 082-545-5011 (担当課直通)

担当課：組織振興課

日赤 広島県支部

検索